



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月24日  
東

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所  
 コード番号 4973 URL http://www.netjpc.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 茂樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部管掌 (氏名) 内田 薫 (TEL) 03-3550-1048  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,082	1.4	597	9.5	630	10.2	422	11.3
26年3月期第2四半期	5,013	△1.8	545	△5.7	572	△4.8	380	△8.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	72.62		72.50					
26年3月期第2四半期	64.90		64.87					

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,968	8,360	83.6
26年3月期	8,790	7,606	86.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,335百万円 26年3月期 7,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
27年3月期	—	40.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	4.5	1,050	8.1	1,100	7.3	720	7.4	123.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	6,317,200株	26年3月期	6,317,200株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	490,400株	26年3月期	494,700株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	5,823,382株	26年3月期2Q	5,856,400株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、平成26年10月28日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料は当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期業績の概要は以下の通りであります。

当期の日本経済は本年4月の消費税率8%への引き上げによる内需不振に加え、欧米の早過ぎる出口戦略による世界景気後退で輸出が伸び悩み、夏場の異常気象もあり、期後半に期待された駆け込み需要反動減からの回復が遅れました。大幅な円安で輸出産業に明るさが広がる一方、輸入価格高騰で輸入産業と家計への負担が増大するなど、景気の跛行色が強まり、全国津々浦々に景気が浸透するには至らず、いぜんデフレから脱却しきれない状況が続きました。

電子部品業界におきましては、ハイエンドスマートフォンの新機種発売を見据えての作り込みが順調に推移し、また、著しい伸びを示している中国スマートフォン向けも下支えとなりました。さらに、自動車の電子化が加速し、車載用電子部品の需要増加も追い風となりました。一方、国内における消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動や、中国、韓国、欧州経済の停滞はありましたが、電子部品や半導体については需要は旺盛で、総じて好調に推移しました。

当社におきましては、ハイエンドスマートフォン向けや車載向けマイクロコネクタ用硬質金めっき薬品は技術的な優位性から販売は好調に推移しました。また、メモリ基板向けワイヤボンディング用純金めっきは需要が増大し、減少傾向から、やや増加傾向に転じました。

その結果、売上高は5,082百万円（前年同四半期累計期間比1.4%増）、営業利益は597百万円（前年同四半期累計期間比9.5%増）、経常利益は630百万円（前年同四半期累計期間比10.2%増）、四半期純利益は422百万円（前年同四半期累計期間比11.3%増）となりました。

なお、保有有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損5百万円を特別損失として計上しております。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用1,577百万円、コネクタ・マイクロスイッチ用1,056百万円、リードフレーム用1,925百万円、その他523百万円であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債・純資産の増減

## (資産)

流動資産は6,007百万円となり、前事業年度末に比べて326百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が243百万円減少、たな卸資産が24百万円減少したものの、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が592百万円増加したことによるものであります。

固定資産は3,961百万円となり、前事業年度末に比べて851百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券866百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は9,968百万円となり、前事業年度末に比べて1,177百万円の増加となりました。

## (負債)

流動負債は648百万円となり、前事業年度末に比べて118百万円の増加となりました。これは主に買掛金が71百万円増加、未払法人税等が51百万円増加したことによるものであります。

固定負債は959百万円となり、前事業年度末に比べて306百万円の増加となりました。これは主に繰延税金負債が306百万円増加したことによるものであります。また、役員退職金制度廃止に伴い役員退職慰労引当金が286百万円減少し、長期未払金が285百万円増加しました。

この結果、負債合計は1,608百万円となり、前事業年度末に比べて424百万円の増加となりました。

## (純資産)

純資産合計は8,360百万円となり、前事業年度末に比べて753百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が188百万円増加、その他有価証券評価差額金が557百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,454百万円（前年同四半期は3,111百万円）となり、前事業年度末に比べ243百万円の減少となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは0.2百万円の支出となり（前年同四半期は948百万円の収入）、前年同四半期比949百万円の収入減となりました。これは主に、税引前四半期純利益637百万円（前年同四半期は585百万円）、売上債権の増加額592百万円（前年同四半期は467百万円の減少）、法人税等の支払額166百万円（前年同四半期は219百万円）などによるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは18百万円の支出となり、前年同四半期比141百万円の支出減となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出6百万円（前年同四半期は106百万円）、有形固定資産の取得による支出10百万円（前年同四半期は47百万円）などによるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは224百万円の支出となり、前年同四半期比340百万円の支出減となりました。これは主に、前年同四半期は自己株式の取得による支出327百万円があったことによるものであります。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,198,553	3,954,762
受取手形及び売掛金	1,120,627	1,713,526
商品及び製品	67,227	109,343
原材料及び貯蔵品	187,678	121,458
その他	106,947	108,209
流動資産合計	5,681,034	6,007,300
固定資産		
有形固定資産	124,225	113,277
無形固定資産	47,268	42,845
投資その他の資産		
投資有価証券	2,897,497	3,764,471
その他	40,953	40,958
投資その他の資産合計	2,938,451	3,805,430
固定資産合計	3,109,945	3,961,553
資産合計	8,790,980	9,968,854
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	241,360	312,538
未払法人税等	170,941	222,277
賞与引当金	54,250	55,000
その他	63,704	58,843
流動負債合計	530,256	648,659
固定負債		
長期末払金	-	285,882
繰延税金負債	329,221	635,376
資産除去債務	38,532	38,724
役員退職慰労引当金	286,080	-
固定負債合計	653,833	959,982
負債合計	1,184,090	1,608,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,283,196	1,283,196
資本剰余金	1,026,909	1,026,909
利益剰余金	5,612,357	5,801,299
自己株式	△1,178,573	△1,168,329
株主資本合計	6,743,890	6,943,076
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	834,974	1,392,393
評価・換算差額等合計	834,974	1,392,393
新株予約権	28,024	24,743
純資産合計	7,606,889	8,360,212
負債純資産合計	8,790,980	9,968,854

## （2）四半期損益計算書

## 第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	5,013,252	5,082,996
売上原価	3,958,815	4,001,360
売上総利益	1,054,437	1,081,636
販売費及び一般管理費	508,731	484,266
営業利益	545,705	597,369
営業外収益		
受取利息	308	369
受取配当金	21,574	30,021
その他	5,749	3,123
営業外収益合計	27,632	33,514
営業外費用		
自己株式取得費用	653	-
株式交付費	-	4
営業外費用合計	653	4
経常利益	572,684	630,879
特別利益		
固定資産売却益	-	346
新株予約権戻入益	18,258	11,107
特別利益合計	18,258	11,453
特別損失		
投資有価証券評価損	5,508	5,120
特別損失合計	5,508	5,120
税引前四半期純利益	585,434	637,213
法人税、住民税及び事業税	209,042	221,621
法人税等調整額	△3,683	△7,326
法人税等合計	205,358	214,294
四半期純利益	380,075	422,918

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	585,434	637,213
減価償却費	22,762	23,181
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,508	5,120
新株予約権戻入益	△18,258	△11,107
受取利息及び受取配当金	△21,882	△30,391
売上債権の増減額 (△は増加)	467,505	△592,898
たな卸資産の増減額 (△は増加)	47,533	24,103
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,258	71,178
その他	17,057	15,445
小計	1,148,919	141,844
利息及び配当金の受取額	19,394	24,863
法人税等の支払額	△219,327	△166,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	948,986	△207
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△106,220	△6,241
有形固定資産の取得による支出	△47,487	△10,449
差入保証金の差入による支出	△5,737	△375
その他	△1,245	△1,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,691	△18,780
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	683	-
自己株式の処分による収入	-	8,096
配当金の支払額	△238,252	△232,900
自己株式の取得による支出	△327,284	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△564,852	△224,803
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	223,442	△243,791
現金及び現金同等物の期首残高	2,888,366	3,697,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,111,808	3,454,008



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。